

『長与町新図書館等複合施設整備基本計画（案）』意見募集（パブリックコメント）の結果

頁	項目	意見	回答・対応
1	1. 長与町 新図書館等複合施設 整備 基本計画 策定の目的	25行目～最終行 一つの文章がとても長く内容が分かりにくい。25行目の「人口減少や～の軽減はもとより」という文は17行目～にも似た内容の文があるので、割愛しても大丈夫ではないか。1965年はS40年ではないか。	ご指摘の通り、重複する語句については整理し、読みやすい文章に改めます。また、長与町健康センターの建築年は昭和40年の誤りでしたので修正いたします。
3	(1) 関連各計画 ○長与町 コンパクトシティ構想	「狭隘」は読み方が難しい。	「スペースが不足している」という表現に変更します。
10	2. 本町の 公共施設全般における 現状とあり方 ○財政面から見た公共施設への対応	平準化の意味がよくわからない。	町の財政における、年間の収入額には限りがありますので、単年度の支出額を大きく増やすことは難しくなります。そのため、総事業費を縮減するだけでなく、多額の支出が同時期に重ならないように分散して計画的に事業を行うなどの平準化の観点が重要となります。 「支出が単年度に集中しないように」という文言を加えます。
11	(1) 複合化により想定されるメリット ②複数施設の合築による整備費用の縮減と運営効率化	②4つめの・職員の適正な配置は業務の効率化に繋がるが「複合化によるメリット」という点は少し違う気がする。	同種の業務を複数の施設で行う場合と比べて、複合施設において集約して行うことにより、業務の総量の縮減が見込まれ、管理費用の削減に繋がるメリットが考えられます。
13	(2) 求められる新たな機能	発表会で使えるホールとあるが、時津のカナリーホールレベルの反響機能をつけてほしい。	発表会にも使用できるようなスペースとして、多目的室の設置を計画しております。音響設備等の必要な設備については、設計段階で総合的な判断から決定してまいります。
14	2. 建設予定地と周辺環境	図書館予定地とイオンタウンの合流交差点は、時間帯によっては渋滞があり、既に不便である。よって、図書館側と車両道路もイオンタウン同様三車線にし、信号機も時差式に変える工夫が必要。長与町の人口数を考慮すると、町全体4車線が望ましい。	交差点の改良につきましては、今回の複合施設整備事業では行いませんが、付近の道路の工事と合わせて、道路部局にて交差点改良を検討しております。
14	2. 建設予定地と周辺環境	アクセス場所は、長い坂道があるため、未就学児及び高齢者は不便である。コミュニティバスの充実化が必要不可欠。	コミュニティバス等の交通手段の運営については、本複合施設のみならず、町民の移動手段確保に関わる課題ですので、交通事業者等も交えて総合的・中長期的な観点から対策を検討してまいります。

頁	項目	意見	回答・対応
18 22 26	3. 基本コンセプト ○基本目標 4・整備方針 (2) 図書館機能整備方針 ○必要な図書館機能 5. 適正配置方針 (1) 各室の想定規模	P18下から1行目、P22上から4行目 「郷土愛の醸成、ふるさとを学ぶ機会の提供と郷土愛の育成」をうたっているが、図書館の役割としても大変重要なことの一つだと思う。 郷土資料展示が一般開架スペースに入る意味は分かるが、堂崎遺跡で発掘されたものその他実物（レプリカ？）は常時展示してこそものと思う。このコーナーを一般開架スペースに作る広さの余裕はあるのか。ミライonのように共有スペースに歴史資料館（コーナー）を設置できればと思う。	郷土資料の保存については、保存・展示のために確保出来るスペースの面や、町が保有している資料の質や量の状況から、適切な保存・展示方法を検討しているところです。
20	4. 整備方針 (1) 共通整備方針	現在までの整備方針として、町民並びに議会での説明では、「交流・防災機能」は無かったがどういう経緯で加えられたのか。またそのことでどれくらいの事業費の増額を試算しているか。	交流機能については、「長与町健康センター基本計画」の策定にあたって令和3年8月から10月にかけて健康センター利用者及び同ボランティアを対象に実施したアンケート調査で「新センターに求める機能・設備」として回答が多かった「運動ができるスペース」「こどもの遊び場」「友人たちとくつろげるスペース」「ミーティングルーム」と、「長与町図書館基本構想・基本計画」の「憩いの場の創設」を具現するため①運動機能②集いの機能③憩いの機能④こどもの遊び場機能を交流機能として計画しました。 防災機能については、平成27年3月に策定された「長与町図書館基本構想」と本年策定された「長与町新図書館基本構想・基本計画」において明記されており、本計画では「災害時の一時避難所」として活用することと、防災備蓄倉庫を別棟で設置する計画です。避難所機能は、共用スペースの多目的室、和室、飲食・休憩・交流の場を活用し、避難者にも配慮した設計とします。 また、追加事業費につきましては、防災備蓄倉庫の設置には、約100万円の費用がかかる見込みです。避難所については、従来の運営に使用するスペースを避難場所として一時的に利用する予定であるため、新たに特別な設備を設けるものではなく、追加費用はありません。
20 21	4. 整備方針 (1) 共通整備方針	デジタルサイネージ、スケールメリット 注釈があればより分かりやすい。	「デジタルサイネージ」には、（電子掲示板）という文言を追加します。また、「複合化によるスケールメリットを活かして」という表現は、「複合化により可能となる業務整理を行うこと」という表現に改めます。

頁	項目	意見	回答・対応
20	4. 整備方針 (1) 共通整備方針 ②安全・安心に利用できる施設	バリアフリー化・ユニバーサルデザインとあるが、バリアフリーはユニバーサルデザインに含まれると思うので、ユニバーサルデザインという単語だけでも良い。	障害者基本計画（内閣府）では、バリアフリーとユニバーサルデザインを次のように解説しています。 「バリアフリーとは、障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去をいうことが多いが、より広く障害者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。ユニバーサルデザインとは、バリアフリーは障害によりもたれされるバリア（障壁）に対処するとの考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインはあらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。」 以上のことから原文のとおりとし、バリアフリー、ユニバーサルデザインの基本的な考えに沿った施設整備を図ってまいります。
20	4. 整備方針 (1) 共通整備方針	今後はあらゆるもののデジタル化が進んでいって、図書館などの公共施設の在り方も変化していくと思います。計画の中に、将来を見据えて時代に対応できるような施設にすることを記載してほしい。	公共施設は、数十年の長期にわたり使用されますので、ご意見のような観点は必要であると考えております。P20「整備方針」において記載内容を加えることといたします。
22	(2) 図書館機能整備方針 ②滞在型・課題解決型図書館を考慮した施設づくり	歴史資料の扱いについて。 新図書館の基本計画では、長与町には歴史資料館が無いことから、図書館での町の歴史収集・保存・提供が大事な使命である事が多くのページに記されている。しかし、建物の総合計画には、そこが欠落している。 一般開架スペースに「郷土資料展示」とあるが、展示だけでなく整理保存場所が必要な事は専門家でなくとも分かる。それは何処になるのか。町のアイデンティティともいべき郷土資料への配慮が感じられない。郷土資料のための整理保存部屋は、たとえ別棟であっても必要。	郷土資料の保存については、保存・展示のために確保出来るスペースの面や、町が保有している資料の質や量の状況から、適切な保存・展示方法を検討しているところです。

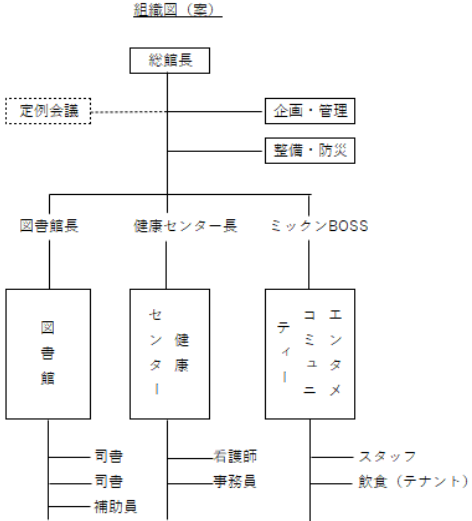
頁	項目	意見	回答・対応
24	4. 整備方針 (4)交流・防災機能整備方針 ①運動機能	<p>運動スペースの整備、ということであるが総合計画・10生涯スポーツの推進・1スポーツ・健康まちづくりの推進に関連する整備と思うが、スポーツを通じた健康増進、健康づくりのための各種講座など、すでに取り組まれている事業と考えるが、現状参加者が多すぎて会場が手狭であるとか、老朽化で使用が困難であるとか利用に対する不満など何かあるのか。新たにその事業が実施できる運動スペースを整備しなければならない理由は何か。</p> <p>計画案で示されている、設計・管理・工事費の合計1,834,000千円を建設予定面積3,000㎡で除して、建設単価を算出すると611千円となり、運動機能として整備される多目的室(大)140㎡の建設費は約85,000千円程度と想定される。一般貸出も想定しなければならないような施設を多額な資金をかけて整備する必要があるのか。各種講座等、現状実施している場所で引続き運営することはできないのか。</p> <p>また、以前議会において運動器具を設置したトレーニング室の整備について、今後検討していくとのことであったが、結果は整備が見送られているようであるが、検討した内容と整備しないとした経緯を示していただきたい。</p>	<p>運動スペースの整備については、スポーツ専用スペースを設けるのではなく、健康センターで行っている特定健診、がん検診等の健診事業や健康講話等の健康教育、介護予防事業、乳幼児の集まりの場(母子保健事業の一環)等の目的で使用する予定の「多目的室」を貸出(有料)することで有効活用し、軽運動などを行う機会を提供することで健康増進を図ることを目的としていますので、追加の事業費をかけてスポーツ施設を整備するものではございません。</p> <p>P24「(4)交流・防災機能整備方針 ①運動機能」の「スポーツや運動を通じた健康づくり」という表現では誤解を招きかねないため、「軽運動を通じた健康づくり」という表現に改めます。</p> <p>トレーニング室については、専用するスペースが広範囲であること。また、器具が容易に移動できないことから多目的に使用できないこと。併せて器具の購入費とメンテナンス費用等を検討した結果、設置を見送ることになりました。</p>
24	(4)交流・防災機能整備方針 ③憩いの機能	<p>「カフェや販売・飲食スペースなどの憩いの場を整備します。」とあるが、町が経営することは適当ではないと考える。どういう運営形態を考えているのか。</p> <p>135㎡(約40坪)での計画となっているが、周辺には商業施設もあるし、規模を縮小して図書館などを利用する人の飲食スペースを整備するという事ではだめなのか。</p>	<p>カフェや販売・飲食スペースについては、基本設計の段階で町民側のニーズの再確認と、実現可能性検討のための事業者側へのサウンディング調査(対話型市場調査)等を行った上で検討していく予定です。また、併せて規模も精査してまいります。現状で計画に計上している135㎡については、類似施設等から様々な要素を勘案した面積の参考値です。</p>

頁	項目	意見	回答・対応
24	(4)交流・防災機能整備方針 ④こどもの遊び場機能	<p>第10次総合計画：36結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実の具体的な取組み3子育て支援環境の整備の項目の中で、地域における子育て環境の充実を目指し、児童館など親子の交流の場の充実を主な取組として掲げられているが、総合計画通り各地域の児童館を整備充実させることが先決ではないのか。</p> <p>各地域の児童館整備と、今回整備する「こどもの遊び場機能」整備費の比較はしているのか。今回計画されている、こどもの遊び場については、子供だけでの来場は困難であるとする、長与小学校区の子供たちについては、どうにか子供だけでも来場できると思うが、その他小学校区の子供たちは車もしくはバスなどで大人の付き添いなしでは無理だと思う、どのような子供たちの利用を想定しているのか、また、180㎡(54坪)を決定した根拠は何か。</p>	<p>児童館については、ご意見のとおり総合計画等に基づき、地域の交流の場となるように、参加しやすい講座を開催するなど取組を充実させていくこととしております。</p> <p>現在計画している遊び場は、乳幼児健診など母子事業への参加者を中心とした未就学児を対象としており、児童館とは異なる位置付けで設置する予定です。</p> <p>広さについては、こどもがバランスよく全身を動かし、心身の健全な成長を促すことに有効な遊具などを配置することを想定し、類似施設等を参考にして、十分な広さを確保できるような面積案を設定しています。</p>
26	5. 適正配置計画 (1) 各室の想定規模	<p>ボランティア室について</p> <p>現在図書館には10の団体と図書館の募集する個人ボランティアの集合団体合わせて11の団体が図書館を利用した補助している。この11団体は全て図書館に寄与しており、広い意味で「ボランティア」として図書館の基本計画に明記されている。これらの団体の部屋の利用状況は、昨年12月～本年11月までの1年間で延べ95回の利用と記録されている。コロナ禍の下、活動を自粛している団体もいくつかあり、本来100回は超える利用状況である。</p> <p>新図書館では、住民との協働が更に求められ、これからボランティア団体は増やしていかなければいけない状況である。また、健康センターのボランティアは現在3団体あり、数は少ないものの、活動は活発で、ヘルシーウォーク、食生活改善、乳児検診等使用する物が大変多く、現在、あちこちの部屋に分散して置かせて貰っている状況である。</p> <p>仮にこれらの物を新施設のボランティア室40㎡に所蔵するとすれば、壁全面に棚を設けても足りない量である事は見てもらえば一目瞭然である。図書館を支えるボランティアだけでも壁2面は物置が必要で、部屋での活動は週に3回以上になると思われる。今でも同時に2部屋定例会で使っている。40㎡では仕切って使うのも難しい。「新しくなって、部屋も便利に使えるかと思ってたのに、かえって窮屈になりそう」と落胆の声が図書館利用者友の会で上がっている。部屋の面積でも、両方のボランティアの物は収まらず、部屋での活動もかなり取り合い(譲り合い)になる事をご理解頂き、少なくとも図書館専用のボランティア室が必要であることを要求する。</p>	<p>限られた事業費と総面積の中で、各計画に記載されている機能を実現し、図書館の開架スペースを広く確保するため、ボランティアルームを交流スペース内に配置し、効率的に活用できるように配置計画を立てております。</p> <p>部屋の広さについては、基本設計の段階で図書館、健康センターの活動に係るボランティア団体から、利用方法等のご意見をいただきながら決定したいと考えております。</p>

頁	項目	意見	回答・対応
26 27	(1)各室の想定規模 (2)各室整備にあつての留意事項 ①図書館	(意見) 閲覧室の面積をもう少し拡大してはどうか。 (理由) 26ページ表中、閲覧室の広さは、やや狭いのではないか。27ページ表中閲覧室の説明で、テーブルや仕切り版を設置した個人用の席などを準備すると80㎡では、座ることができる人数が減ってしまう気がする。現在の図書館でも、土日の学習利用者は多く感じる。新図書館は、長崎北陽台高校の近くになるので、平日夕方や土日の高校生利用がかなり増えると想像され、座ることができる人数を現在の図書館より多めにする必要があると思う。	本計画では閲覧室の想定面積を80㎡としておりますが、今後町民ワークショップでの意見などをもとに利用見込を推計し、多くの席数が確保できるように基本設計において調整してまいります。
33	6. 環境計画 ①環境評価の高い施設整備	①ZEB Readyとあるが、「ZEB Ready実現は、太陽光発電などのエネルギーは含まないで、50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物（環境省HP）」とあるので、「太陽光発電等～」の文言はない方が良い。	ご指摘の箇所については、一次エネルギー消費量の削減に加えて再生可能エネルギーの導入を図ることで、より上位の区分を目指すことにしていますので、「ZEBまたはNearly ZEBの認証取得を目標とします。」との表現に改めます。
35	8. 事業費と財源	事業費は、今後材料および工賃等が値上がりする。それを見越しての予算となっているのか。	物価上昇を考慮した上での事業費となっております。
35	8. 事業費と財源	今年10月の情報によれば、26億円の予算と聞いているが、 ・地方債（起債・借金）、教育振興基金 ・一般財源と国県の補助金の予定	総事業費は、本整備基本計画に記載しています施設整備に係る概算事業費 2,229,000千円に、建設用地購入費の買戻し額 547,000千円を加えて 2,776,000千円です。財源として「二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金」「公共施設等適正管理事業債」「一般事業債」「教育振興基金」等の活用を予定しています。残りが一般財源となります。
35	8. 事業費と財源	完成後の年間維持費はどの位かかるのか。	現在の図書館と健康センターの年間管理費予算は約1,000万円ですが、新施設は総規模が少し大きくなることから、管理費もそこから少し大きくなることを想定しています。ただし、新施設においてはZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化などにより、一次エネルギーの消費量が大きく縮減される設備設計とする予定です。設計者の選定を行う段階からイニシャルコスト、ランニングコスト、ライフサイクルコストを意識した設計となるように努めてまいります。
35	8. 事業費と財源	設計や建設工事について、費用を安く抑えるための工夫はあるのか。また、建設費用を安く抑えるためには、設計段階からそのような観点で行っていく必要があると思われる。	設計事業者を選ぶプロポーザルにおいては、工事等に係る初期費用や維持管理費用の縮減の観点も取り入れながら、事業者の選定を行っていきたいと考えております。P35「8.事業費と財源」へ、上記内容の記載を追加いたします。



頁	項目	意見	回答・対応
36	9. 管理運営計画 (1)施設利用 ①開館時間・休館日	(意見)開館時間は20時程度としていただきたい。 (理由1)仕事帰りに利用するためには18時閉館は早すぎる。利用者の利便性を向上させるために、20時程度まで開館していただきたい。 (理由2)長崎北陽台高校の下课時刻が19時であり、その後保護者を待つ間に図書館を利用できるようにすると、高校生の利便性が向上し、利用者が増加すると考える。	利用者の利便性の観点や運営体制等の面から、適当な開館時間を検討してまいります。
36	9. 管理運営計画 (1)施設利用 ①開館時間・休館日	祝日が休館日となっているが、祝日は開館し、その翌日などを閉館して職員の休日を確保するのはどうか。「利用者の利便性や需要を考慮しながら適切な開館時間・休館日を検討する」とあるので、仕事や学校が休みの時こそ利用できるようにしてほしい。	ご意見も踏まえ、適当な休館日や開館時間を検討してまいります。
36	9. 管理運営計画 (2)運営・管理体制	「司書や専門職の資質が住民サービスの向上に直接繋がるものであり、長期的な観点から人材の確保と育成が最も重要な課題となるため、町の直営方式を基本とします。」という一文に期待をしている。新図書館基本構想にある具体的方策を住民のニーズに合わせて実際に行えるかどうかは、司書の力にかかっている。それは行政やボランティア、地域などと連携する力も含まれる。経験や実績のある司書の確保も必要であるし、何より若い人が新図書館の司書を一生の仕事として目指せるような環境整備が必要。	新施設は、図書館と健康センターとの複合により、両機能に携わる職員をはじめとする行政、ボランティアの方々や利用者の皆様とのコラボレーションが不可欠です。特に図書館においては司書が十二分に力量を発揮できる体制が必要と考えております。新たな司書の確保と合わせて、各々が研鑽しあいながら魅力的で質の高い図書館運営ができるように努力してまいります。
36	9. 管理運営計画 (2)運営・管理体制	◆計画-建設・工事・搬入・開館(準備open)-開館後の流れの中で後の流れの中で ◆開館(open)後の管理・運営が最重要課題と考える。 -そこで- 1.館全体の組織・役割の明確化 2.人材採用計画と教育・育成体制 3.マネジメント力と専門性(度) 4.企画力と実践力(執行力) 5.数値管理-経費と収益 6.安全安心最優先 7.定期点検の実施(1カ月、半年、1年) ハード面、ソフト面-修正、見直し8.複合施設としてのシナジー効果の発揮	ご意見ありがとうございます。 1. 組織体制については、施設の機能が十分に発揮できる適切な体制を構築して参ります。 2～5. 館長や事務員、司書などの運営に関わる人材の確保は住民サービスにおいても特に重要な課題と考えています。長期的な観点から人材の確保・育成に努めることとし、様々な研修をとおして知識の向上を図ることで、利用者第一のサービスが提供できるよう研鑽を積み、管理運営費の適切な執行にも努めて参ります。 6～7. ご意見のとおり、誰もが安全・安心に利用できる施設とすることを、重要な整備方針と位置付けております。また、施設整備を行う上で必要な建築物等の点検については、義務付けられた法定点検はもちろんのこと、設計者・施工者と連携し長期的なメンテナンス計画を整備し、適正な管理を行ってまいります。
—	その他	複合施設に愛称を募集してはどうか。	愛称の公募については、前向きに検討いたします。

頁	項目	意見	回答・対応
—	その他	総館長は公募による任命を行ってはどうか。	館長の公募については、施設の組織体制づくりと並行して検討を行ってまいります。
—	その他	健康センターは長崎北徳洲会病院とコラボレーション	現在長崎北徳洲会病院様には西彼杵医師会様を通して特定健診、予防接種、町広報紙への執筆等にご協力頂くと共に長崎医療圏の二次救急病院としても住民の皆様の医療を担っていただいています。町としましては、今後更に健康教育や健診等の充実を図っていきたくと考えておりますので、西彼杵医師会様、長崎北徳洲会病院と協議しながら進めていきたいと考えております。
—	その他	<p>提案 -ミックンBOSS-</p> <p>◆コミュニティー・エンタメの責任者</p> <p>◆定例会議（月2階）出席メンバー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総館長</li> <li>・企画・管理担当</li> <li>・警備・防災担当</li> <li>・図書館長</li> <li>・健康センター長</li> <li>・ミックンBOSS（6名）</li> </ul>	<p>組織図(密)</p>  <pre> graph TD     GM[総館長] --- PM[企画・管理]     GM --- PD[警備・防災]     GM --- L1[ ]     L1 --- TL[図書館長]     L1 --- HCL[健康センター長]     L1 --- MB[ミックンBOSS]     TL --- TL_Box[図書館]     HCL --- HCL_Box[健康センター]     MB --- MB_Box[コミュニティーエンタメ]     TL_Box --- TL_Staff[司書 司書 補助員]     HCL_Box --- HCL_Staff[看護師 事務員]     MB_Box --- MB_Staff[スタッフ 飲食(テナント)]   </pre>
—	その他	図書館のトイレ設計について立正大学 小宮信夫教授に、監修をお願いしてはどうか。	今回の設計業者の決定につきましては、プロポーザル方式を採用する予定としており、現時点で監修の方をお招き入れるというのは難しいと判断いたします。ただ、小宮教授の提唱される犯罪社会学の面も意識し、法や条例に基づきながら、トイレを含めた施設全体において誰もが安全、安心に利用できる施設づくりを行ってまいりたいと考えております。貴重なご意見ありがとうございました。



頁	項目	意見	回答・対応
—	その他	勉強や読書で長く居る人のため、カフェやイートインがあると良い。	交流スペース内に「飲食・休憩・交流の場」を計画しています。カフェについては、「運営を希望する事業者がいるのか。長いスパンで経営できるか。」など町内事業者の方々とのサウンディング調査（対話型市場調査）を行いながら基本設計において判断します。また、イートインについては「飲食スペース」を設ける予定です。
—	その他	カナリーホールのような子供の遊ぶスペースがあると良い。イベントもする。（絵本を借りる人も増えるかもしれない）	とぎつカナリーホールに設置されている「児童館（子育て支援センター）」とは位置付けが異なりますが、未就学児が遊べるような「遊び場」については、一定のスペースを整備することとしております。
—	その他	防音の貸し個室を設けて、楽器を演奏できるようにしたり、習い事の教室に使用できたりすると収入元も見込めるかもしれない。	交流スペース内の多目的室（小）を防音機能を備えた貸出可能な部屋として整備する計画です。基本設計時に開催予定の町民ワークショップでの意見を拝聴しながら設計してまいります。また、習い事など営利を伴う活動への貸し出しについては、交流スペースの法的位置づけ等を勘案しながら慎重に検討します。
—	その他	中高生のため、学習スペースだけでもいいので、閉館時間が延長してほしい。	ご意見も踏まえ、適当な休館日や開館時間を検討してまいります。
—	その他	雨の日でも子供が遊べる室内の遊び場があると良い。	未就学児を対象とした、室内の遊び場を設ける予定です。
—	その他	学習スペース（一人用の机もあると良い。）	グループ学習室とキャレルデスク（個人閲覧席）の設置を考えております。配置計画については、基本設計時に開催予定の町民ワークショップでの意見を拝聴しながら設計する予定です。
—	その他	ゆっくり読書ができるようなソファ席が欲しい。	ゆったり座れる「ブラウジングソファ・チェア」などの設置を考えていますが、配置や設置数については基本設計において検討してまいります。
—	その他	リモートワークができる空間	図書館内と交流スペースにはフリーWi-Fiを設置する予定ですが、詳細については今後設計の中で詰めてまいりたいと考えております。
—	その他	ベビーカー、車いすでも利用しやすいよう通路を広くする。	施設全体に対しましてバリアフリーとユニバーサルデザインを取り入れてまいりますので、ベビーカーや車椅子の方も利用しやすい施設づくりに努めてまいります。

頁	項目	意見	回答・対応
—	その他	町内掲示板でサークル活動やボランティアなどの情報が得られる場を作る。	館内に掲示板及びデジタルサイネージ（電子掲示板）、パンフレットスタンドを用いた情報の発信と、共有スペースにボランティアルームを設けることにより、ハード・ソフトの面でより多くの方にボランティア活動やサークル活動に興味を持っていただき持続的な活動につながる仕組みづくりを考えております。
—	その他	子育て中でも学んだり運動できる託児付きの講座があると良い。	講座については、多目的室を活用した各種講座の開催が考えられますが、詳細は現在未定で、今後講座の開催を含めた交流スペースの有効活用について検討してまいります。ご提案ありがとうございます。